令和３年度　入学生用　〔　国　語　科　〕　シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	探究古典	2	選択科目	2年	
使用教科書	未定			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	(1)指導事項　古典などに表れた思想や感情をその時代と現代双方の異なった情況を立脚点にして読み取り、人間、社会、自然などについて深く考察する。 (2)言語活動　古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をし、国語による表現活動に活かす。

学習評価

	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
2	問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
5	協働力	他者を尊重し、協働することができる。
6	自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
7	実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
8	自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。

以上の観点をふまえ、
総合的に評価します。

担当者から

1年次「国語総合」で学んだこと、2年次「古典A」で学ぶことを踏まえ、より深く古典の世界を探り究めます。教科書に採用されることの少ない文章を中心に、成立した時代順に読んでいきます。そのことにより、国語の変遷の理解にもつながるでしょう。また、多読するよりも、一つ一つの文章を時間をかけて精読することに重きをおきます。そしてこれが大切……「古典」に興味・関心のあることが前提の科目です。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価基準	評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8		
4	古文	上代の文章	出雲国風土記	○	○	○						「学校文法」(中古語を中心とした文法)との相異についての理解。	年4回の定期考査
4			万葉集	○	○		○					日本語の成り立ち、日本語にとって韻文とは何かの考察。	小テスト
5		中古の文章	日本霊異記	○		○		○				漢文訓読からの影響、かな文学の成立についての考察。	授業時の取り組み
5			和泉式部日記	○	○	○						怪異に対する古代人の関心についての考察。	ノートの記載内容
6			堤中納言物語	○	○	○						貴族から武家への時代推移を背景とした韻文の変化についての理解。	などを元に評価する。
6			梁塵秘抄	○	○		○						
6			山家集	○	○		○						
7		中世の文章	愚管抄	○			○			○		「学校文法」(中古語を中心とした文法)との相異についての理解。	
7			歎異抄	○	○			○				中世仏教からの影響についての考察。	
8			風姿花伝	○				○		○		中世芸能論についての考察。	
9			金槐和歌集	○	○		○					政治に翻弄される為政者による韻文の鑑賞。	
9		近世の文章	醒睡笑	○	○			○				「学校文法」(中古語を中心とした文法)との相異についての理解。	
9			雨月物語	○	○			○				近世における怪異譚・怪談流行の理由についての考察。	
10			古事記伝	○	○			○				近世韻文の世界への理解。	
10			柳多留	○	○		○						
10			鶉衣	○	○		○						
10			おらが春	○	○		○						
11			東海道四谷怪談	○				○		○			
12	漢文	小説	六朝志怪小説	○				○		○		志怪・伝奇・怪異小説の変遷についての理解。	
12			唐宋伝奇小説	○				○		○		時代的リアリティの考察。	
1			聊斎志異	○				○		○		国文学への影響についての考察。	
2			紅楼夢	○				○		○			
3		詩	陶淵明	○	○		○					漢詩の基礎知識の定着。	
3			李商隠	○	○		○					漢詩訓読の国語への影響についての考察。	